

ある町の 天気相談所

Vol.81 2024.09.06

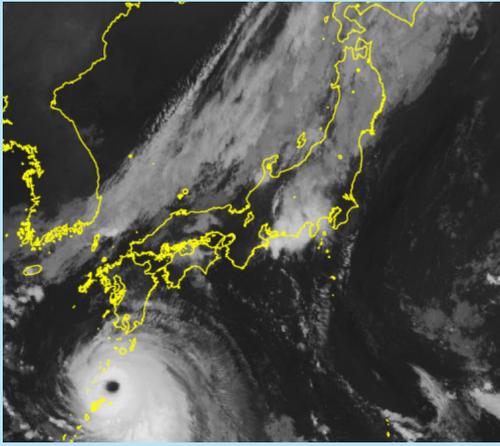
令和6年9月号



8月の台風

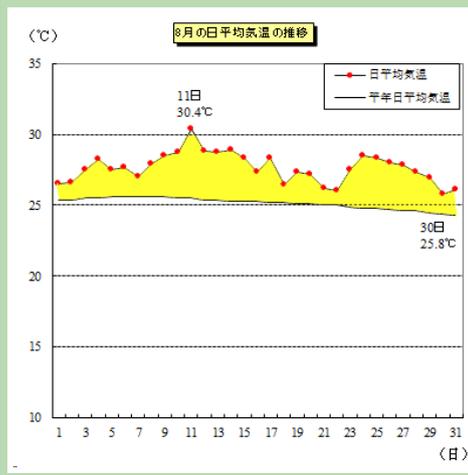
2024年8月は5号から10号まで、6つの台風が発生し、5号が岩手県に上陸、10号が九州に上陸後西日本をゆっくりと進み、7号が関東地方の近くを進み、9号は先島諸島付近を進みました。

画像は、台風第10号の8月28日3時の気象衛星画像（気象庁ホームページから）



8月の気候

8月は、太平洋高気圧は東から張り出し、日本付近を台風が進むことが多くなりました。月合計降水量は、153.5ミリと月の前半は少なくなりましたが、後半は台風や湿った空気の影響により平年を超える降水量となりました。月平均気温は27.6度と平年よりかなり高く、8月として高い方からの記録2位となりました。月合計日照時間は、162.8時間と平年の95%となりました。



一ヶ月予報（気象庁発表）

天気は数日の周期で変わりますが、前半は高気圧に覆われやすい予想です。平均気温は「高い」、降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は、「ほぼ平年並み」となる見込みです。

8月の台風

5号
8月8日午前3時に小笠原近海で発生し、関東沖を離れて通過していったが、東から高気圧の勢力が強まり、西へ進路を変え8月12日8時30分頃には岩手県の大船渡市付近に上陸した。その後、日本海へ進むが、動きが遅くなり、熱帯低気圧として長く東北北部に影響を与えた。

7号
8月13日午前3時日本の南の海上で発生し、小笠原諸島近海を北上し8月15日には伊豆諸島南部の東の海上を通り関東地方に接近した。5号とは逆に千葉県の南東海上で東寄りに向きを変えて東の海上を本州から遠ざかっていった。

10号
8月22日午前3時にマリアナ諸島で発生した。24日には小笠原近海を進み、進路を西寄りへ変えて、非常に強い勢力まで発達した。28日に奄美諸島付近を進むころから動きがゆっくりとなり、29日8時頃には鹿児島県薩摩川内市付近に上陸した。上陸後も動きは遅く、弱まりながら、30日には四国を進み、9月1日には紀伊半島の南の東海道沖に達し、北へ進路を変えて、1日12時には熱帯低気圧になり、日本海側に進んだ。

天気用語の基礎知識

台風等を起因とする特別警報2

台風第10号により、8月28日、台風等を起因とする特別警報が鹿児島県に発表された。今回で4回目であり、はじめては2014年の台風第4号により7月7日に沖縄県の宮古島地方に、2回目は2016年の台風第18号で10月3日に沖縄県の沖縄本島地方に、3回目は2022年の台風第14号で9月14日に鹿児島県に発表された。台風等を起因とする特別警報は、暴風、波浪、高潮、暴風雪とあるが、大雨の特別警報と違い、暴風や高波が発生する前に発表される情報でもある。

・・・神峰の山から・・・

7月号(79)のこのコーナーで、自宅にツバメが夜間だけ過ぐすと紹介しました。6月最終週から2羽が10日間ほど過ぐして、その後来なくなっていました。8月下旬から再び夜間だけやってくるようになりました。同じ個体なのかはわかりませんが、6月の時よりだいぶ大きくなっています。そして、同時にやってくる数も増えて、毎夜6羽ほどが過ぐしています。日没前は人が来ると飛び回りますが、日没後は人がきてもじっとしていて、日の出頃にはいなくなっています。

身体も大きく、数も多いので、糞の量は8倍ぐらいになりました。